

## 主題：聖書の心臓部——ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ

メッセージ 6

### エペソ人への手紙 (2)

#### 神の傑作としての一人の新しい人の喜び

聖書：創 1:26. エペソ 2:14-16. 4:20-24. コロサイ 3:10-11. II コリント 5:17

#### I. 神が人を創造した意図は、団体の人を得て、彼を表現し彼を代行することでした——創

1:26. エペソ 2:15 :

- A. 神はご自身のかたちに人を創造して彼を表現させ、人に彼の統治権を与え、人が彼を代行して彼の敵を対処するようにしました——創 1:26。
- B. 新創造における新しい人としての召会は、神のかたちを帯びて神を表現し、神の王国のために神の敵と戦います——コロサイ 3:10-11. エペソ 2:15. 4:24. 6:10。
- C. 古い人の中で分裂し散らされていたものは、新しい人の中で回復されます——創 11:5-9. 使徒 2:5-13. コロサイ 3:10-11。

#### II. 神の詩、傑作としての新しい人は、キリストの死を通して彼の復活の中で創造されました——エペソ 2:10, 15-16 :

- A. わたしたちは 15 節の二つの句に細心の注意を払う必要があります。それは「彼の肉体の中で」と「ご自身の中で」です：
  - 1. キリストは「彼の肉体の中で」、宇宙におけるすべての消極的なもの（サタン、悪魔、神の敵——ヘブル 2:14. 罪——ローマ 8:3. ヨハネ 1:29. 墮落した人の肉——ガラテヤ 5:24. この世、コスモス、サタンの邪悪な体系——ヨハネ 12:31. 古い人で代表される旧創造——ローマ 6:6. 律法の分離する規定——エペソ 2:15) を終わらせました。
  - 2. キリストは範囲、要素、本質としての「ご自身の中で」、ユダヤ人と異邦人を一人の新しい人へと創造しました：
    - a. キリストは一人の新しい人、召会の創造主であるだけでなく、新しい人がその中で創造された要素、またそれをもって創造された本質でもあります。
    - b. キリストは一人の新しい人の要素また本質であって、神の神聖な性質を人性と一つの実体とします——参照、コロサイ 3:10-11。
- B. 新しい人を創造することにおいて、まずわたしたちの天然の人はキリストによって十字架につけられ、そして古い人を十字架につけることを通して、キリストは神聖な要素をわたしたちの中へと分け与え、わたしたちを神の働きの傑作、神の詩、宇宙における完全に新しい項目、神の新しい発明とやらせました——ローマ 6:6. II コリント 5:17 :
  - 1. 「傑作」のギリシャ語はポイエマ (poiema) であり、「詩として書かれ、あるいは作文されているもの」を意味します。
  - 2. 詩的な文書が詩と考えられるだけでなく、作者の知恵や構想を表現するどの芸術作品も詩と考えられます。

3. わたしたち、神の働きの傑作としての召会は、神の無限の知恵と神聖な構想を表現する詩です。召会は、キリストであるすべての神の知恵ある展覧です——エペソ 3:10-11。
4. キリストは、神の救いにおける三つの極めて重要な事柄として、神からわたしたちに与えられた知恵となりました—— I コリント 1:30. 参照、創 3:24. エペソ 5:25-27 :
  - a. 義（わたしたちの過去のため）は、わたしたちがそれによって神に義とされ、霊において再生されて、神聖な命を受けるためです——ローマ 5:18。
  - b. 聖別（わたしたちの現在のため）は、わたしたちがそれによって魂において、彼の神聖な命をもって聖別され（思い、感情、意志において造り変えられ）つつあるためです—— 6:19, 22。
  - c. 贖い（わたしたちの将来のため）、すなわち、わたしたちの体の贖いは、わたしたちがそれによって体において、彼の神聖な命をもって変貌させられ、彼の栄光の様を持つためです—— 8:23. ピリピ 3:21。
5. わたしたちがそのように全体的で完全な救い、すなわち、わたしたちの全存在（霊、魂、体）を有機的にキリストと一にして、彼をわたしたちのすべてとし、わたしたちをキリストであるすべての知恵ある展覧とするのは、神によります。

**Ⅲ. 十字架上でキリストがご自身の中で新しい人を創造したのは、数々の規定から成っている戒めの律法を、彼の肉体の中で廃棄することによってです——エペソ 2:14-15 前半 :**

- A. 第 2 章 15 節で語られた律法は、道徳的な戒めの律法ではなく、儀式的な戒めの律法、例えば、割礼、安息日の順守、ある食物を食べることなどです。
- B. 規定は生活と礼拝の形式あるいは方法であり、それは敵意と分裂を創り出します :
  1. 十字架上でキリストは、生活と礼拝に関するすべての規則、諸国民を分裂させた規則を廃棄しました—— 15 節. コロサイ 2:14。
  2. バベルの時から、人類は生活と礼拝の方法に関する規定によって分裂させられてきました。召会生活における神のエコノミーの中で、わたしたちはバベルに打ち勝たなければなりません——創 11:1-9 :
    - a. キリストはわたしたちの唯一の源であるべきです。わたしたちは、自分の背景、文化、あるいは国民性の何ものにも、わたしたちの源とならせるべきではありません——参照、コロサイ 3:10-11。
    - b. この世の人々は、文化的な違いを敬意の源として見ますが、キリストの中で、わたしたちはこの敬意を失っています。今やわたしたちの唯一の敬意はキリストと真の一です。わたしたちが進んで自分の文化的な誇りを去らせるなら、主は正常な召会生活を持つことができます。

**Ⅳ. 一人の新しい人の中で、キリストはすべての肢体であり、すべての肢体の中にいます—— 10-11 節 :**

- A. わたしたちの中に住んでいるキリストは、一人の新しい人の構成要素です—— 1:27. 3:11 :
  1. キリストは新しい人のすべての肢体ですから、どの天然の人（どの人種、国民性、

文化、あるいは社会的地位) のための何の可能性も、何の余地もありません—— 10-11 節。

2. わたしたちがどのような種類の人であっても、一人の新しい人に関する限り、わたしたちはみな無です。
3. 一人の新しい人の中にはただ一つのパーソン、すなわちすべてを含むキリストがあるだけです—— 2:17. 3:4, 11。

B. 新しい人のために、わたしたちはみなキリストをわたしたちのパーソンとする必要があります——エペソ 2:15. 3:17 前半 :

1. キリストのからだとして、召会はキリストをその命として必要とします。一人の新しい人として、召会はキリストをそのパーソンとして必要とします。
2. キリストは一つのパーソンとしてわたしたちすべての中にいます。ですから、わたしたちはみなただ一つのパーソンを持っています——ガラテヤ 2:20. エペソ 3:17 前半。
3. 一人の新しい人の実行上の存在のために、古い人の総合的なパーソンは放棄されなければならず、わたしたちは一人の新しい人によって生きなければなりません——ローマ 6:6. ガラテヤ 2:20. エペソ 4:22, 24. 3:17 前半 :

- a. わたしたちはキリストをわたしたちのパーソンとすることによって、わたしたちの中ですべての決定をする方としての彼をもって、新しい人の中の生活をする必要があります。
- b. いったんわたしたちは、自分が一人の新しい人の一部分であることを見るなら、ただ自分自身によって事を決定することはできなくなります。
- c. わたしたちは、自分が団体のからだまた団体の新しい人であり、自分の生活すること (パーソン) も行動すること (命) も団体的であることを見る必要があります—— I コリント 12:12. ローマ 12:4-5。

4. わたしたちはエペソ第 2 章 15 節の「一人の新しい人」を、ローマ第 15 章 6 節の「一つの口」と、I コリント第 1 章 10 節の「同じ事を語り」と共に考える必要があります :

- a. 過去あまりにも多くの口があったのは、あまりにも多くのパーソンがあったからです。
- b. 「一つ思いをもって」と「一つの口で」(ローマ 15:6) は、わたしたちは数が多くみな語っていても、わたしたちはみな「同じ事を語」ることを意味します—— I コリント 1:10。
- c. わたしたちは数が多く多くの場所から来ていても、みな一つの口を持ち、みな同じ事を語ります。これは、わたしたちがみな一人の新しい人であり、ただ一つのパーソンを持っているからです——エペソ 2:15. 4:22-24. 3:17 前半. ローマ 15:6. I コリント 1:10。

V. 一人の新しい人のために、また一人の新しい人の中で、わたしたちはキリストの平安に、わたしたちの心を裁定させる必要があります——エペソ 2:14 前半, 15 後半. コロサイ 3:12-15. 2:14-18. ローマ 5:1. マタイ 18:21-35 :

A. 「裁定」するのギリシャ語は、「審判する」、「つかさどる」、あるいは「あらゆるこ

との支配者また決定者として座に着かせる」とも訳すことができます。キリストの裁定する平安は、あらゆる人に対するわたしたちの不平を解決します——コロサイ 3:13。

B. しばしばわたしたちは内側の三者を意識します。すなわち、積極的な者、消極的な者、中立の者です。ですから、内側の裁定がわたしたちの内側で議論を解決する必要があります：

1. わたしたちは、わたしたちの存在の内側の異なる者が議論し口論していると感じるときはいつも、キリストのつかさどる平安に地位を与え、この平安、すなわち、新しい人の一にわたしたちの内側で支配させ、最終の言葉を持たせる必要があります。
2. わたしたちは自分の意見、自分の観念をわきに置き、内住のレフェリーの言葉に聞き入る必要があります。

C. わたしたちがキリストの平安にわたしたちの心を裁定させるなら、この平安はわたしたちの間のすべての議論を解決します。わたしたちは垂直に神と平安を持ち、水平に聖徒たちと平安を持ちます：

1. キリストの平安の裁定を通して、わたしたちの問題は解決され、聖徒たちの間の衝突は消え去ります。そして召会生活は甘さの中で守られ、新しい人が実行上、維持されます。
2. キリストの平安の裁定は、キリストがわたしたちの内側で働いて、わたしたちに対する彼の支配を行使し、最後の言葉を語り、最終決定をすることです——参照、イザヤ 9:6-7。

#### VI. 聖書には四段階の喜びがあります：

- A. 救いの喜びがあります——詩 51:12. 16:11. イザヤ 12:2-6. ルカ 15:7, 10, 23-24. ローマ 5:10, 17. 10:12-13。
- B. 召会の喜びがあります——詩 42:4. 43:4. 48:1-3. 95:1-2. 100:1-2. 146:1-2. 150:1-6。
- C. からだの喜びがあります——II コリント 1:24. 7:13. 8:2. ピリピ 2:2. I テサロニケ 2:19-20. 24 節。
- D. 一人の新しい人の喜びがあります——エペソ 2:14-16. 4:20-24. コロサイ 3:10-11. II コリント 5:17. 啓 5:8-10。